

第75回アブダクション研究会開催のご案内

アブダクション研究会

世話人 福永征夫
TEL & FAX 0774-65-5382
E-mail : irfdf117@ybb.ne.jp

事務局 岩下幸功
TEL&FAX 042-356-3810
E-mail : yiwashita@syncreate.jp

第75回アブダクション研究会の開催について、下記の通りご案内を申し上げます。

(1) 第75回アブダクション研究会のご案内

会員の皆様には、グループメールにて、世話人から既報の通り、9月25日(土)の第75回アブダクション研究会は、期待がかかる、盛り沢山の内容です。アブダクション研究会の先行きにも、インパクトを与えるものとなるでしょう。

つきましては、皆様の積極的なご参加を期待し、お願いを致します。

また、ご出席の皆様には、主催者として、重ねて細かなお願いを申し上げますので、何卒、お聞き分けを下さい。①17時まで、という会場の使用時間はストリクトな取り決めです。②全く隙間のないタイムスケジュールをキチンとこなして、最大限の成果を得たいと願っています。③タイムスケジュールの始刻と終刻は、厳守下さるようお願いをします。④発表者の方は、定刻よりも1~2分、早めにプレゼンテーションを完了する位の心づもりをしておいて下さい。

(2) 74回アブダクション研究会のご報告

去る7月31日(土)に開催しました前回の研究会は、懇親会をも含めて大いに盛況でした。

岩下 幸功 氏 (シンクリエイト代表) から、『プロジェクトマネジメントとアブダクション』というテーマで、大変に有意義なお話を伺いました。

世話人は、岩下氏に対して、プロジェクトマネジメントの意義・重要性・運営に関する考え方を、歴史の経緯と今後の展望に基づいて、初めての読者にも分かるような形で、多くの発表内容に、再度、換骨奪胎を加えながら、要約し、文章に、書き下ろしていただくように、ご依頼を致しております。これが、まとめ次第、この『第75回アブダクション研究会のご案内』を差し替える形で、岩下氏のお話の概要を皆様にお届けしますので、その旨をご了承ください。

(3) 各界、各分野の皆様のご積極的なご参加をお願いします

既存の領域的な知識をベースにして、新たな領域的な知識を探索し、それらを広域的に組み換えて、より高次の領域的な知識を仮説形成的に創造することを目標に、アブダクション研究の飛躍を期して参りますので、各界、各分野の皆様のご積極的なご参加をお願いします。

記

◇ 日時： 2010年9月25日(土) 13:00~17:00 (例会)
17:15~19:15 (懇親会)

◇ 場 所： 日本電気企業年金会館 一階会議室 (中山氏のお名前で申し込み)

東京都 世田谷区 代沢5丁目33-12 電話：03-3413-0111 (代)

* 当日の連絡先(岩下幸功・携帯電話) 070-5541-4742

* 小田急線/京王・井の頭線 下北沢駅 下車 徒歩約8分

* 会場の地図は、グループメールのブリーフケース内「下北沢 NEC 厚生年金基金会館 MA
p」に記載。 <http://groups.yahoo.co.jp/group/abduction/files/>

◇ テーマ： マーティン・エイモス著 (ギボンズ京子訳) 『ジェネシス
マシン——バイオコンピューティングへの挑戦——』
を輪読研究する

◇プログラム：

(1) セッション1. (輪読研究)： 13:00~15:20

= 説明発表 =

◆プロローグ・イントロダクション

・第1章 [生命の論理] ……担当 尾上 彰 氏 13:00~13:15 説明発表

13:15~13:20 質疑応答

◆第2章 [マシンの誕生] ……担当 野田 敦史 氏

13:20~13:35 説明発表

13:35~13:40 質疑応答

◆第3章 [極小の世界に余裕あり] ……担当 顧 彦慧 氏

13:40~13:55 説明発表

13:55~14:00 質疑応答

◆第4章 [TT-100] ……担当 岩下 幸功 氏

14:00~14:15 説明発表

14:15~14:20 質疑応答

◆第5章 [ゴールドラッシュ] ……担当 富田 洋平 氏

14:20~14:35 説明発表

14:35~14:40 質疑応答

◆第6章 [空飛ぶ魚とファイマン]

……担当 依田 耕市郎 氏 14:40~14:55 説明発表

14:55~15:00 質疑応答

◆第7章 [スクラップヒープ・チャレンジャーゼロからの挑戦]

・エピローグ ……担当 八尾 徹 氏 15:00~15:15 説明発表

15:15~15:20 質疑応答

●説明発表者は、A4・2枚程度の要約資料のコピーを18部ご用意いただき、出席者に配布して下さい。

(3) セッション2.

講演発表： 陶山 明 氏（東京大学・教授） 15：20～16：00
<質疑応答> 16：00～16：15

(4) セッション3.

セッション1. (輪読研究) の総合討論会 16：15～17：00

(5) 懇 親 会 ： <皆様の積極的なご参加を期待しています>

17：15～19：15

第75回 アブダクション研究会 (9/25) の出欠連絡

●9/20 (月) までの返信にご協力下さい。ご連絡なしの当日出席も無問題ですが、会場や資料の準備の都合もありますので、できるだけ、ご協力くださるようお願いいたします。

FA X： 042-356-3810
E-mail： abduction-owner@yahogroups.jp 岩下 幸功 行

出席	出席
●9/25 (土) の 研究会に、未定ですが 調整 します。	●懇親会に、未定ですが 調整 します。
欠 席	欠 席

☆ 出欠の連絡は、グループメールメニューの「投票」コーナーから行うこともできます。
<http://groups.yahoo.co.jp/group/abduction/polls>

- * 次々回第76回アブダクション研究会は、2010年11月27日(土)に開催いたします。
- * 11月の研究会は、飯塚道夫氏に、『N・ウィナーに学ぶ「サイバネティクス」とアブダクション』(仮題)のテーマで、ご発表をいただきます。
- * 大いにご期待をいただき、奮ってご参加ください。

ご署名 _____

<定例アンケート調査>

もしご協力がいただければ、という趣旨であり、必須ではありません。
皆様のメッセージ集として他の会員にも伝達しますので、情報の交流に積極的に参画下さい。

- (1) 今、アブダクションの研究・実践と関連のある事項で特に興味をもって取り組んでおられること。
- (2) 研究会の議論の場を通して INTERSECTIONAL なアイデアや知見の INCUBATION が進んでおり、例会で発表したいと思っておられること。
- (3) これまで（第1回～第74回）の研究発表やなされた議論（「議事録」を参照下さい）に関して、さらに改めて質疑や意見を表明したいと考えておられること
- (4) アブダクションの観点から、注目すべき人・研究グループ・著書（古今東西不問）。
- (5) 細分化された「知」の再構築を図るという視点から、注目すべき人・研究グループ・著書（古今東西不問）。
- (6) 貴方ご自身がお考えになられている「知」の定義とは？
- (7) その他のご意見、ご要望、連絡事項など。

特に他学会・研究会での発表内容や発表論文等についても是非お知らせ下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....